

剪定枝と廃食用油の分別回収に協力を!!

～剪定枝と廃食用油を1か月で約50t資源化しました～

皆さんの協力のもと、6月から開始した剪定枝と廃食用油の分別により、1か月で約50tを回収しました。これは、6月の燃せるごみの9.3%にあたり、これを資源化したことによって、燃せるごみの減量につながりました。今後もさらなる分別を徹底し、ごみの減量化・資源化にご協力ください。

なお、分別回収を開始してからいただいた主な問い合わせ内容は下記のとおりです。

〔剪定枝・廃食用油Q&A〕

剪定枝 《剪定枝の収集日に出してください!》

Q 枝のほかに、葉や草なども分別回収するのですか？

A 庭木等の剪定の際に出た刈込み枝を想定しています。日常の掃除などで出た葉や草は、いままでどおり燃せるごみとして出してください。なお、剪定枝の収集日に出していただいた場合は、資源として収集します。

Q 幹の太さが10センチメートル以内でないといけないのですか？

A 機械で破碎処理ができなくなりますので、太い枝は10センチメートル程度に割ってください。

Q どれくらいの回収量を見込んでいるのですか？

A おおよそ月30トン程度を見込んでいます。その分が可燃ごみの減量につながります。

Q 木や草の種類によっては、回収できないものがありますか？

A 特にありません。ただしレタスなどの野菜類、果実類、花類は生ごみとして出してください。

Q 枝を束ねるひもはビニールひもでよいですか？

A ビニールひもでかまいません。束ねる太さは30センチメートル以内としてください。



廃食用油 《燃えないごみの収集日に出してください!》

Q 資源ごみとして出せる油とはどのようなものですか？

A サラダ油、オリーブ油及び菜種油など植物性の油です。

Q 植物性の油以外は回収してもらえないのですか？

A ラードなどの動物性の油や、自動車用エンジンオイルなどの工業用油は資源化できませんので、絶対に資源ごみとして出さないでください。

Q 油はどのような容器に入れて出せばよいですか？

A 油の入っていた容器（缶も可）や普通のペットボトルに入れ、ふたをしっかりと閉めて出してください。その際、使用済み油の場合には濾（こ）して不純物を取り除いてください。また、ペットボトルは中が確認できるよう、ラベルはがしにご協力ください。なお、ふたの閉まりの悪い容器の使用は避けてください。

Q どれくらいの回収量を見込んでいるのですか？

A おおよそ月1トン程度を見込んでいます。



お詫びとお願い

葉や草は6月以降、剪定枝と一緒に“資源”として出していただくようお願いしておりましたが、収集回数が少ないため町民の皆様大変不自由をおかけしていることから、これまでどおり燃せるごみの日に収集します。

町民の皆様には、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

※剪定枝の収集日に出していただいた場合には、資源として収集します。